

# 交番・駐在所の最適化について（概要版）

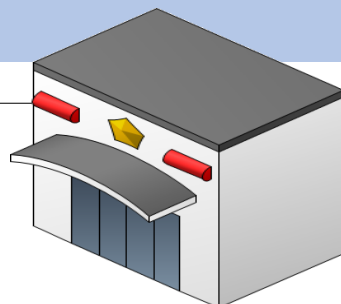
## I 交番・駐在所の現状

### 交 番

78  
箇所

- ・ 主に都市部に設置
- ・ 交替制（所長は原則日勤）
- ・ 24時間勤務

○ 24時間×365日 勤務



### 駐在所

130  
箇所

- ・ 主に都市部以外に設置
- ・ 日勤制（約8時間勤務）
- ・ 夜間・休日・休暇等は原則閉所
- ・ 施設に居住（駐在型）

○ 1日8時間 × 年約230日 勤務



## II 交番等を取り巻く環境の変化と課題

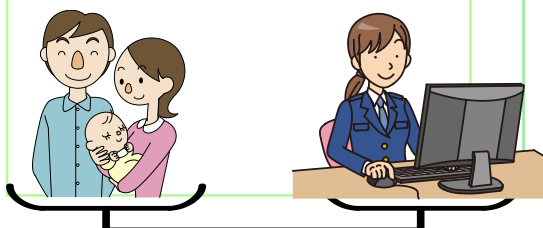
### 社会環境の変化

- ・ 通信環境の発達
- ・ 交通手段や道路環境の発展
- ・ 国民生活、経済活動の24時間化



### 労働環境の変化

- ・ 少子高齢化による労働人口の減少
- ・ 育児等と両立できる職場環境の構築
- ・ 時間外勤務の縮減
- ・ 年次有給休暇の取得促進



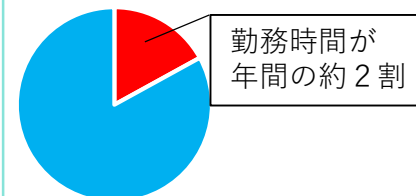
### 勤務員等の安全確保と事件等への即応

- ・ 全国的な交番・駐在所襲撃事件の続発
- ・ 複数勤務体制の確立
- ・ 集中運用による不在交番等の増加



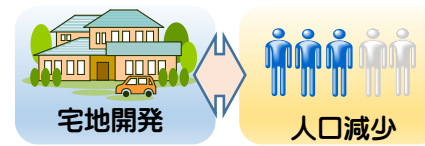
### 駐在所機能の限界

- ・ 日勤制のため、年間約8割の時間帯が勤務時間外
- ・ 1～2人勤務のため、襲撃等のリスクがあり、事案即応にも影響



### 交番・駐在所の負担格差

- ・ 宅地開発、交通環境整備、大型店舗出店等による各種取扱の増加
- ・ 人口減少、町村合併（連携窓口の一本化）等による各種取扱の減少



諸情勢の変化に応じた組織基盤の確立へ

## 基本方針

### 警察力の集中化

- ・ 複数勤務・事案即応体制の確立
- ・ 街頭活動と施設在所の両立
- ・ 施設運営上の事務合理化



### 警察力が分散状態

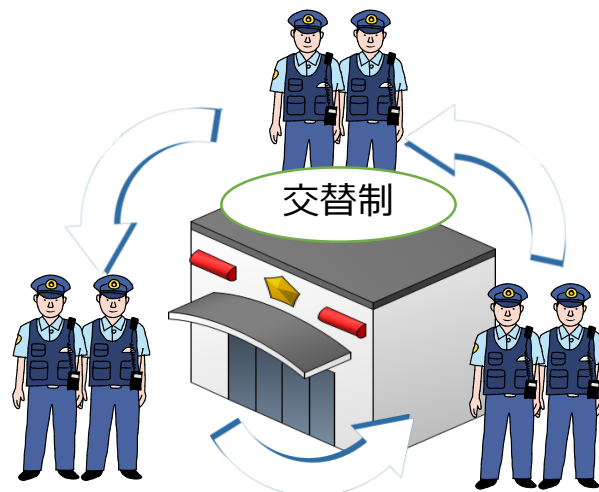
- ・ 事案対応時に合流
- ・ 街頭活動時は施設不在（閉所）
- ・ 施設運営上の事務が重複



### 交番の配置基準

一定の人口が集中する地域に設置  
(都市化が進んでいる地域等の駐在所は原則廃止の方針)

～複数の勤務員が  
**原則24時間体制**  
で事件事故に対応～



### 駐在所の配置基準

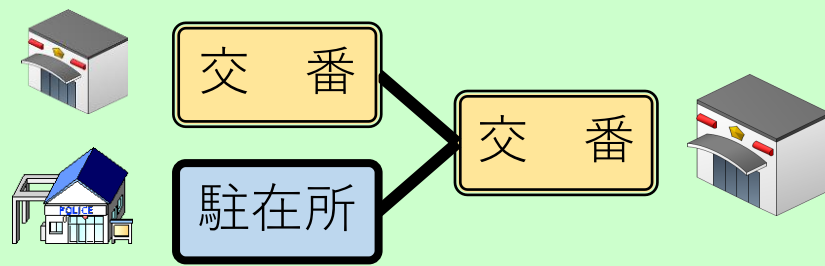
警察署から遠隔地にある山間・沿岸部等に設置  
(機能維持)

～可能な範囲で単独勤務を解消し、複数勤務体制を確立～

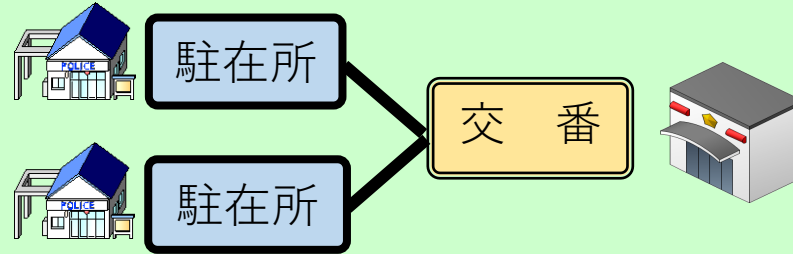


# 最適化のパターン

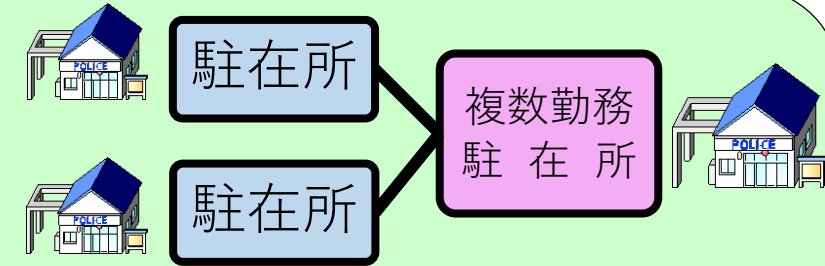
## ① 施設の再編整備



- ・ 交番・駐在所を統合、集約することにより、**交番化**



- ・ 複数の駐在所を統合し、**交番新設**

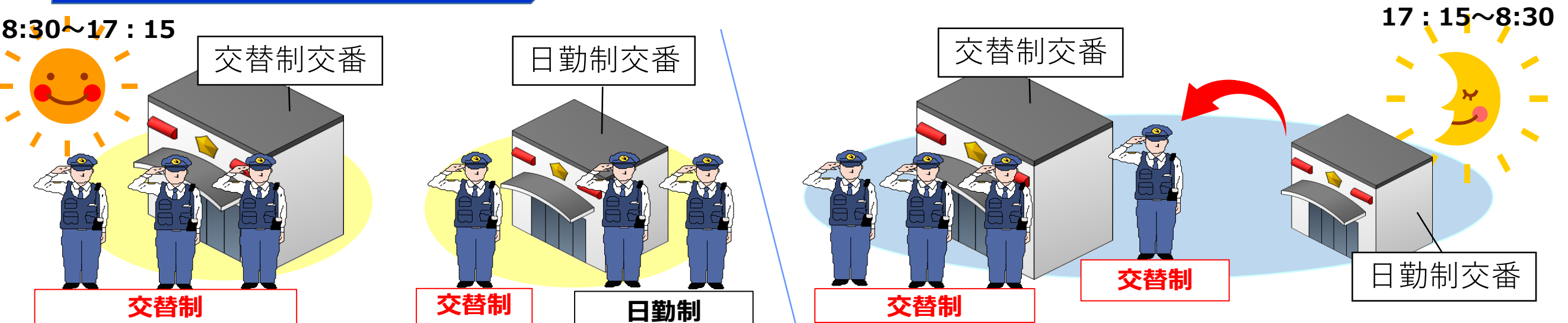


- ・ 駐在所を集約し、**複数勤務駐在所化**

- 交番化により**24時間体制・事案即応体制**を確立、複数勤務駐在所化は**勤務員の安全を確保し、事案即応体制**を確立
- 交番・駐在所を統合、集約しても警察官の職務内容は同じ  
(区域ごとに担当警察官がいて、これまでと変わらずにパトロール、巡回連絡等を実施します)

## ② 柔軟な勤務形態の導入

### 日勤制交番等の導入



- ・ 「ブロック運用による夜間体制」を維持しつつ、日中帯の勤務体制を強化することが可能
- ・ 特定の日勤者が常駐することで、より地域に密着した活動が可能
- ・ 駐在所においても必要に応じて住み込みのない通勤制を導入

〔国家公安委員会規則の改正〕  
・ 人員配置の柔軟化  
⇒ 日勤制交番、通勤制駐在所

# Ⅳ 最適化の進め方

## ① 対象施設の選定

施設の老朽化状況等を踏まえつつ、様々な要素を総合的に勘案し、個別の地域ごとに必要性を検討した上で、具体的な方針を組織決定します

## ② 住民等の理解促進

地域住民の理解が得られるよう丁寧な説明に努め、その意見・要望等を踏まえた上で、再編整備の実施時期や統合後における補完措置の在り方などの検討を進めます



## ③ 統合後の補完措置

地域住民の要望や利便性を踏まえ、**警察署連絡所**として、警ら活動・地域ボランティア活動拠点等に活用することを検討します

統合後の不安解消のため、当面における集中的な**パトロール活動等**を行います



県警察では、引き続き、組織や業務の合理化・効率化等を不断に進めつつ、社会の変化に応じた警察組織の構築に努めてまいります。

一方、長年続いてきた交番・駐在所の配置・運用に変更が生じることは、地域住民にとって大きな不安要素となることを念頭に置き、丁寧な説明を尽くした上で、「安全安心な地域社会の実現」に向けた基盤づくりを地域住民の方々とともに進めてまいります。